

2020 年度入学生対象入学式 祝辞

2020 年度に本学に入学した皆さん、1 年遅れとなりましたが、ご入学おめでとうございます。

学校法人東京理科大学を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

本来であれば、1 年前に入学式を挙行し、皆さんの入学をお祝いするはずでしたが、ご存じのとおり新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら開催することが叶いませんでした。本日、1 年遅れではありますが、このように皆さんの入学式を行い、直接お祝いを申しあげることができ、心から嬉しく思います。また、昨年 1 年間、先行きの見えない状況で学生の皆さんを見守ってこられたご家族や関係する方々にも、改めて心からのお祝いを申し上げます。

東京理科大学は、明治時代が始まってまだほんの 10 数年という 1881 年に東京物理学講習所として創立され、今年 140 周年を迎える、歴史と伝統のある大学です。創立当時、日本では、近代化を目指す社会改革が急速に進められていましたが、同じ頃、欧米諸国は第二次産業革命の真っ只中で、化学、電気、石油等、あらゆる分野で技術革新が飛躍的に進んでおり、国際社会において資源に乏しい我が国が発展していく為には、欧米諸国と肩を並べて競い合う事が出来る新たな技術を生み出していく必要がありました。そういった中で、今の皆さんとそれほど年齢の変わらない 21 名の若者が、希望すれば誰でも理学を学べる学校を、という熱く真摯な思いで開校したのが、東京理科大学の原点になります。

当初から、本学では、学生に丁寧な教授し、しっかりとした実力をつけて卒業させる、いわゆる実力主義の教育を行ってきましたが、それは今日に至るまでの 140 年という長い年月の間も変わる事なく、開校以来一貫して実力主義を掲げ、伝統と革新のバランスを取りながら、つねに時代の最先端の教育と研究を行ってきました。そしてこれまでに約 22 万人の方が本学を卒業し、教育、産業、行政など多岐にわたる分野で幅広く活躍しておられます。皆さんが、この素晴らしい理科大ネットワークの仲間に加わって頂ける事は、大変な喜びであり、皆さん

の事を心より歓迎したいと思います。

今、私たちが暮らすこの 21 世紀の社会では、ロボティクス、人工知能、量子コンピュータなど、様々な分野で急速に技術革新が進んでおり、見慣れたはずの私たちの日常の暮らしも、これまでとは全く違う別の新しいものになろうとしているかのようです。

こういった時代に生まれ育ってきた皆さんの夢は何でしょうか。まだ自分の夢や目指すべき目標を確立していない人は在学中に様々な体験をし、模索してください。大学は多様なプログラムを用意し、皆さんが目指す方向を決める為に必要なアシストを行っていきます。コロナ禍のように、私たちに既存のシステムの変更や意識改革など難しい課題を突き付ける様々な試練はありますが、こういう厳しい変革の時代にこそ沢山のチャンスがあり、何よりも若い皆さんには無限の可能性があるのであります。

ではいずれやってくるチャンスを私たちがしっかりと掴むためには何が必要なのでしょう。それは日々押し寄せてくる莫大な情報の中で、惑わされる事なく物事の“本質”を見抜く巧みの眼を養う事、そして優れた技術に敏感に反応する嗅覚を磨く事ではないかと、私は考えています。

勿論それらを身につけるのはたやすい事ではなく、学問の粘り強い修行が必要となるかもしれません。しかし安心してください。皆さんがどんなに高い山を目指して行くとしても、それに必要な教育プログラムを理科大はしっかりと用意しています。まずは、それぞれの学問分野の基礎を学び、自分の力を 1 つ 1 つ積み重ねて蓄えていきましょう。

アップル社の共同設立者の一人であるスティーブ・ジョブズがスタンフォード大学の 2005 年の卒業式で行った“Stay Hungry, Stay Foolish”という「常識を恐れて縮こまるのではなく、つねに自分を信じて進み、ハングリーであれ」と私たちに鼓舞する素晴らしいスピーチを、ご存じでしょうか。もしもまだ聴いた事

が無い方がいれば、一度配信サービスなどで聴いてみてください。

その中で彼は、点と点を結ぶ”connecting the dots”という話をしています。彼が若い頃大学で何気なく受講した授業で学んだ知識が、その時はそこに何か特別な意味があるとは思えなかったけれど、10年後にマックコンピュータの設計に思いもよらぬ形で、まるでそれが自分の運命だったかのように役立ったという話です。

もしかすると授業で得られる知識や経験は、最初は何の脈絡も無いバラバラの小さな点のように無意味に感じられる事があるかもしれません。でも私は、そうやって自分が学ぶ知識や、あるいは実験や演習での失敗、日常生活での体験など、1つ1つの点を大切にすることによって、いつか必ずそれらがつながって、ジョブズがそうだったように、何か自分が想像もしなかった大きな力となる時が来るのではないかと思うのです。

ですから皆さんが、今、目の前にあるものが将来どのようなようにつながって形になっていくのか現時点では予想すら出来ないとしても、これから出会う知識や経験の1つ1つを大切にしてください。そうやって自分で努力して実際に体験し、身に着けた事は、将来必ず自分自身の力となり、豊かな実を結ぶ事でしょう。ぜひ本学在学中にそんなチャンスをつかみ取る事に、いつも貪欲でハングリーであって下さい。

最後に、皆さんが健康に留意され、今日の想いを忘れることなく、将来自分の夢を実現できるように、有意義な学生生活を過ごされることを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠にありがとうございます。

2021年4月9日
学校法人 東京理科大学
理事長 浜本 隆之